

## 論点整理表（令和元年度（平成31年度）業務実績・財務諸表等）

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
1	総括	質問	年度計画終盤には、新型コロナウイルス感染拡大対策の影響で、様々な事務・事業を中止せざるを得なくなったと考えられる。このことの実績評価への反映の考え方について伺いたい。	新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度末に予定していた国際交流事業を中止したほか、学外展示会への出展取り止め等、一部事業において実施内容の変更や中止、延期等の影響が生じております。自己評価については、年度計画の進捗を客観的に点検・評価することを目的としており、今般のコロナ禍に鑑みた実績評価とはしていません。 また、今年度については年間を通じて各種事業の進捗に影響が生じていることから、年度計画の変更等を含め設立団体と協議を進めたいと考えております。	企画課
2	1	質問	いわゆる3ポリシーを基本とする「教学マネジメント」基本方針の検討状況について伺いたい。	学修者本位の教育の実践を図るための教育改善に向けて、将来構想検討WGにおいて、3ポリシーとの整合を図りつつ、10年後を見据えた持続可能な大学運営を実現するための議論を開始しております。 昨年度の取組としては、議論の前提として現状の課題を洗い出したほか、今後の方向性等について全学的な意見交換会（将来構想フォーラム）の開催を通じて広く協議いたしました。今後も開学10周年を一つの目処としながら、基本的方針の策定を進めることとしております。	企画課
3	2	質問	教員ごとの授業評価傾向等を分析・開示とあるが、開示対象と開示方法は。	開示対象は以下のいずれかに該当する科目（受講生が5人以下の科目を除く）としており、また、開示方法については、調査結果の文書を該当する授業担当教員へ配付することとしております。 ・同一区分の評価が8割以上 ・評価点平均が1.6未満または3.4以上	学生課
4	3	意見	学部学生向けに大学院等の講義等の参加を促したことはわかったが、実績はどうだったかの記載がほしい。(具体の人数などは)	大学院の特別講義（公開講演会）等は学内で12回、県外で1回開催しております。学内開催については、参加人数の約9割が学部学生であり、大学院の取組を体感できる貴重な機会となっております。	学生課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
5	5	質問	学部学生の受講を認めた結果、実績はどうだったか。	大学院の幅広い内容の講義が学部によく共有された結果、大学院の教育内容に興味を持つ学生が増え、令和2年度の内部進学者数が増加しております。 (内部進学者数実績：令和元年度0名→令和2年度4名)	学生課
6	7	意見	「準備を進めた」結果、令和2年度入学者から適用と言うことであれば、規程、要綱などのルールを整備済みと理解するので、具体的な記述にしていきたい。	ご指摘を踏まえ以下の文言に改めます。 「国際的な活動への積極的な参画を促進するため、秋田公立美術大学履修規程を改正し、海外におけるワークショップ等への参加を単位化する科目「グローバルインターンシップ」を新設した。(令和2年度入学者から適用)」	学生課
7	8	質問	台南應用科技大学への教員派遣の具体的な人数、リンショピン大学からの教員と学生の受け入れ人数は。	台南應用科技大学(台湾)とは、令和元年4月に本学から教員を1名派遣し、昨年12月には本学で教員1名を受け入れました。 リンショピン大学(スウェーデン)とは、令和元年10月にマルムステン校の学生を1名受け入れたほか、11月には教員2名を受け入れました。 なお、各教員は派遣大学でそれぞれ特別講義やワークショップを実施しております。	企画課
8	9	意見	「準備を進めた」結果、令和2年度入学者から適用と言うことであれば、規程、要綱などのルールを整備済みと理解するので、具体的な記述にしていきたい。	ご指摘を踏まえ以下の文言に改めます。 「外国語教育体制の充実を図るため、秋田公立美術大学学則を改正し、本学入学前に受験した外国語技能試験等(英検、TOEFL、TOEICの3種類)の成績が基準を満たしている場合、申請に基づき相当科目の単位として認定する制度を整備した。(令和2年度入学者から適用)」	学生課
9	11	意見	「授業参観」とは何か。(12)の教員相互という意味であれば、その旨記述することが望ましい。	ご指摘のとおり「教員相互の授業参観」と文言を改めます。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
10	16	質問	面接試験の充実とは、具体的にどのようなことか。	専門分野の異なる複数教員による面接を実施したほか、受験者プレゼンテーション用機材の導入等により、試験内容の充実を図ったものです。	学生課
11	17	質問	教員が学部と大学院を兼担するのは、特別なことではないと考えるが、美大ではそのような事情にないということなのか。確認したい。	工芸やデザインを含め横断的で幅広い研究に対応するとともに、学部からの連続した学びの機会を提供するため、令和2年度から原則として全教員の兼担化を実施したものです。	企画課
12	21-30	質問	最小項目の自己評価のうちA評価が8、B評価が2で小項目自己評価をBにした理由は	連番(27)の「学外企画展への出展機会の拡充」および連番(30)の「他の美術系大学と共同の学生作品展の実施」について構想の具体化に至りませんでした。両項目ともに学習意欲の向上に向けた重要な取組と捉えていることから、小項目「学習支援の充実」については「B」評価としたものです。	企画課
13	24	意見	「機関リポジトリ」について、簡単な補足説明がほしい。	「機関リポジトリ」とは、大学で作成された論文などの学術研究資料をデジタルデータに登録・保存し、インターネットで公開するシステムであり、学術成果の社会還元と教育研究活動の促進を目的としております。	総務課
14	26	質問	奨学金の支給額はいくらか。	特待生12名に対して1名当たり10万円、合計120万円を支給しております。	学生課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
15	27	質問	業務実績を見ると、企画展などいろいろやっているように思うが、評価をBとした理由は。新型コロナウイルスで開催できなかった事業があったから、評価を下げたのか。	新型コロナウイルスの影響により、「3331 ART FAIR2020」への出展を見送ったほか、学外企画展等への出展機会の拡充に向けた構想の具体化に至らなかったことから、「B」評価としたものです。	企画課
16	30	質問	評価がBである理由は。	「他の美術系大学と共同の学生作品展の実施」について、構想の具体化に至らなかったことから、「B」評価としたものです。	企画課
17	32	意見	修学支援新制度についてわかりづらいので、「国の制度に基づき」等の記載がほしい。また、「新制度に一本化」とはどういうことか。	ご指摘のとおり「国の制度に基づく高等教育の修学支援新制度への対応を図るため」と文言を改めます。 また、「新制度に一本化」とは、授業料減免の対象者を国の制度（修学支援新制度）の要件に該当する者のみとし、従前の大学独自の授業料減免制度の要件は適用しないことを意味するものです。	学生課
18	32	意見	「機関要件の確認申請」でとどまっている時期ではないので、結論の記述があるべき。	ご指摘のとおり「機関要件の確認申請を行い、承認された」と文言を改めます。	学生課
19	33	質問	評価をBとした理由は。また、大学院を出てもなかなか進路が決まらないケースは少ないのか。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。平成30年度は就職希望者（5名）全員が就職したところですが、令和元年度は希望者9名中3名が未定となっております（未定のうち1名は留学生）。大学院については、今後とも留学生が年々増加している現状を踏まえた総合的な進路支援に努めてまいります。	学生課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
20	33-35	質問	最小項目の自己評価のうちA評価が2、B評価が1で小項目自己評価をAにした理由は	進路決定率が数値目標に達しなかったものの、90%を超えている状況にあること、また、ポートフォリオ指導の充実をはじめ進路選択の各種支援に取り組んだことから、小項目「進路支援の充実」については「A」評価としたものです。	企画課
21	34	意見	「ポートフォリオ」の用語解説が望ましい。	「ポートフォリオ」は、デザイン・イラスト・3DCG・写真・デッサンなどの学生自身の作品を紙に印刷し、ファイリング、あるいは製本化したものであり、クリエイティブ業界では、就職活動での書類審査で提出することが多く、デザイン職の一次課題として求められるものです。	学生課
22	37	質問	学割証自動発券機による893件は、全体の発券数に対する割合はどうか確認したい。	ご指摘を踏まえ以下の文言に改めます。 「事務局内に学割証自動発行機を設置し、791件（総数の88.6%）を発行するなど、窓口事務の効率化を図った。」 ※学割証自動発行機を設置した6月下旬までは職員の手書きで発行しております。	学生課
23	38	質問	アンケートの中身はどんなものだったのか簡単に説明がほしい。	卒業生アンケートは、本学の教育科目の修得度と現在の生活への役立ち度、今後の本学の教育・学生支援について、社会人経験を踏まえた意見を聴取しております。 また、就職先アンケートについては、本学の卒業・修了生の秀でた点と今後期待する点、および就職先企業・団体が重要視する学生の能力を育成する観点から、本学の教育・学生支援に対する要望を聴取しております。	学生課
24	40-47	質問	小項目におけるAとCの割合とB評価との整合性。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。 科研費の獲得については、第2期中期計画の重点戦略に掲げており、当該項目が「C」評価であったことに鑑み、小項目「研究水準の向上」については「B」評価としたものです。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
25	44	質問	なぜC評価としたのか。また、「学長プロジェクト」はいつから始まった事業か。科研費申請の状況等の8,190千円という金額は、資料の中のどこに対応しているのか。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。「学長プロジェクト研究費」は開学時から設けており、「競争的研究費（740万円）」と「芸術表現企画事業（300万円）」で構成しております。また、令和元年度に科研費を受け入れた研究課題については、資料編のP7に記載しており、野村教授（基盤C）とアデル助手（若手研究）が該当します。※8,190千円は研究期間における採択総額です。	企画課
26	44	意見	科研費の申請件数、採択件数について、設定目標の当否はともかく、目標の達成度に対する自己評価Cは厳しいように思う。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課
27	48	質問	有給休職制度が学内制度として整備されたのであれば、その具体的内容と利用状況を確認したい。	現在、本学では有給休職制度として2つの制度を設定しており、その概要および取得の実績は次のとおりです。 【長期学外研究制度：平成27年1月13日施行】 (1) 対象 助教以上の概ね1ヶ月を超えて行うもので、職務に関連があると認めるとともに、大学の理念実現に寄与する学術上の研究、調査、発表その他の学術に関する活動であることなどの要件を全て満たすもの。 (2) 取得の実績 平成27年度：2件（台北2回） 平成28年度：1件（台北1回） 平成29年度：0件 平成30年度：1件（オーストラリア） 令和元年度：0件 【長期学外国際教育活動制度：平成27年3月27日施行】 (1) 対象 助教以上の概ね1ヶ月を超えて行うもので、職務に関連があると認められるとともに、長期学外国際教育活動を行おうとする者の教育能力の向上が期待され、当該活動の成果が本学の学生に還元される活動であることなどの要件を全て満たすもの。 (2) 取得の実績 無し	総務課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
28	51	質問	制度利用者の円滑な「職場復帰の支援」の具体的内容は何か。	育児休暇制度の内容について説明したほか、短時間勤務や看護休暇等、活用可能な制度を紹介し、安心して職場復帰ができるよう支援を行ったものです。	総務課
29	54	質問	デッサンスクール等について、対象地域はあるのか。（大学の近隣の子たちを対象にしているのか？）	デッサンスクール等の事業については、特段の受講制限は設けずに開講しており、秋田市を中心に広く秋田県内（一部県外）から美術系大学への進学を目指す中高生が参加しております。	企画課
30	61	質問	最小項目の自己評価をSとした理由は	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。当該項目については、目標数値を上回る実績であったことを踏まえ「S」評価としたものです。	企画課
31	68	質問	目標どおりに取り組んでいるように思われるが、評価をBとした理由は。	新型コロナウイルスの影響により、年度末に予定していた交流提携校への教員派遣が当初計画どおりに実施できなかったことから、「B」評価としたものです。	企画課
32	70	質問	評価をBとした理由は。目標に達しなかったからなのか？	お見込みのとおり、数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
33	68-75	質問	評価をBにした理由は。	新型コロナウイルスの影響により、協定締結校との交流事業が計画どおり実施できず、また、海外留学等への助成件数について目標を達成できませんでした。両項目ともにグローバル人材の育成に向けた重要な取組と捉えていることから、小項目「海外との交流機会の拡充」については「B」評価としたものです。	企画課
34	78	質問	「教員と事務職員とで構成」しているのは、全ての学内委員会なのか、そうでなければ基本的考え方があるのか。	全ての学内委員会に教員と事務職員が入って組織されていますが、委員の構成が教員と事務職員の混成であるものと、委員は教員のみで事務職員は事務局として参加しているものがあります。 委員会の所掌事項によって委員構成を決めており、概して学術研究分野であるものには事務職員は委員となっております。	総務課
35	79	意見	内部監査について、学内に専任の職員がいるのか。この項目については、内容をもっと具体的に記載してほしい。	内部監査については、令和元年度に独立部署の設置を準備し、令和2年度から内部監査室を設置し、専任職員を配置しております。 これまで監査する側と受ける側が重複していたため、独立した室とし、次の事務について所掌しています。 (1) 内部監査の企画、立案および執行に関すること。 (2) 監事による監査の補助に関すること。 (3) 公益通報に関すること。 (4) その他本学における監査に関すること。	総務課
36	80	質問	法人採用職員の他は、市からの出向職員という認識でよいか。また、この職員比率は今後、どうしていく方針なのか。	法人採用職員のほか、正職員としては、市からの出向職員と、国立大学法人秋田大学からの派遣職員（割愛採用、2名）がおります。 また、法人採用職員の比率については、第2期中期計画期間中に50%以上とすることを目標に掲げており、引き続き計画的に事務職員の採用を進めていく予定です。今後も一定数の出向職員は必要と考えますが、同職員の出向年数は限られていますので、経験と専門知識を備えた法人採用職員を育成し比率を増やしていくことは、今後も必要と考えております。	総務課
37	86	質問	「見える化」について、具体的にどんなことをしたのか。	業務担当者以外でも、業務概要に止まらず事務の詳細や手順が分かるよう、業務マニュアルや実施要領に文書やフローの整備を進めています。	総務課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
38	91	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課
39	92	質問	最小項目の自己評価をSとした理由は	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。当該項目については、目標数値を上回る実績であったことを踏まえ「S」評価としたものです。	企画課
40	93	質問	なぜB評価としたか。自己保有の確保に着手しなかったということか？	新たな自己収入について、情報収集への着手に止まり、具体的な検討に至らなかったことから「B」評価としたものです。	総務課
41	93	質問	外部資金比率を高めるために、具体的な施策は行っているのか。	これまで具体的に行っている施策としては、科研費の獲得のための教職員のスキルアップと、教員のインセンティブを高めるため学内研究費の審査において科研費申請状況の反映などを行っています。 また、新たな自己収入の確保については、他大学の取組などの情報収集に着手したところであり、施策の実施には至っていません。	総務課
42	95	質問	「体育館等の施設の有償貸付」の計画に対して、実績の「体育館の有償貸付等」に込めた意味は何か。	体育館の有償貸付のほか、自動販売機設置に伴う施設の有償貸付や駐車場、グラウンド等の無償貸付の実績もあったことから、「体育館の有償貸付等」と表記したものです。	総務課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
43	95	意見	内容についてももう少し具体的な記載がほしい。(数字など)	ご意見のとおり主な内容について次のとおり記載します。 施設有償貸付の実績は次のとおりです。 ・体育館 1件 2,310円(秋田ノーザンブレッツ) ・駐車場 34人 350,100円 (職員、附属高等学院、新屋図書館、アーツセンター:1月当たり900円) ・自動販売機 2台 218,000円(伊藤園(入札))	総務課
44	97	質問	「内部質保証体制の整備」は認証評価の重要な評価基準になっているが、秋田県立大学では、この体制を、中期計画・年度計画の実施・評価・改善についても適用する方針である。このことについて、美大ではどのような方針なのか伺いたい。	各年度の業務実績および年度計画の策定等にあたっては、自己評価委員会での審議を踏まえ、学内の教育研究審議会のほか、理事会構成員および学外有識者4名で組織する経営審議会において審議され、その後理事会での承認を得ております。また、各審議段階および法人評価委員会からの意見等については、該当委員会等にフィードバックし、次年度に向けた改善を求めています。	企画課
45	104	質問	評価をBとした理由は。コロナで開催できなかった展示があったためか。	新型コロナウイルスの影響により、「3331 ART FAIR2020」への出展を見送ったほか、学外企画展等への出展機会の拡充に向けた構想の具体化に至らなかったことから、「B」評価としたものです。	企画課
46	114	意見	今般の新型コロナウイルス感染症に関する学内での安全衛生上の措置や、実施した対策について、記載した方がよいのではないか。	新型コロナウイルス感染症への対応については、流行状況等を踏まえながら進めてきておりますが、学事日程の変更や遠隔授業の実施など、主なものは令和2年度以降の実績であることなどから、記載しなかったものであります。	総務課
47	116	質問	評価をBとした理由は。情報セキュリティポリシーの整備でなく検討にとどまったためか。	ご指摘のとおり、規程等の整備に至らず、情報収集に止まったことによるものです。	総務課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
48	118	意見	研修内容等見直しの基本的方針を加えた方が 良いと思う。例えば、ケーススタディを加え るなど、より実践的な方法・内容とする、な ど。	実際の研修内容見直しにおいては、ご意見のとおり、相談対応・調査時における 実践的なスキルの習得を基本的な方針として実施しております。	総務課
49	119・120	意見	記載している内容から推察する限りでは、調 達に関する競争契約の推進や不正の抑止、研 究費用の不正防止に関する組織内の統制が弱 いのではないか。	ご意見のような現状を踏まえ、令和2年度、新たに内部監査室を設置し、監査事 務を実施したほか、各業務におけるリスクの識別や評価等を進めていくこととし ており、より健全で適正な大学運営の推進に努めてまいります。	総務課
50	決算報告書	質問	教育研究費、一般管理費について、※書きで 経費の移動と記載があるが、額が大きいた め、損益計算書など、財務諸表上に与える影 響も大きいと思われるが、もう少し詳しく注 記を入れるなどしなくてよいのか。	光熱水費については一般管理費にのみ予算配分し、決算時に建物の面積按分に従 い各経費区分に振替処理を行っております。このため、経費区分ごとの当初予算 額と決算額に差額が生じておりますが、全体では差額が相殺され、財務上の影響 はないものと捉えております。また、予算と関連がない損益計算書などの財務諸 表にも影響は生じておりません。 なお、令和2年度はこれまでの実績値をもとに各経費区分に光熱水費等の予算配 分を行っており、経費区分ごとの予算と決算の差額は小さくなるものと見込んで おります。	総務課
51	貸借対照表	質問	図書の廃棄の基準はあるのか。捨てる、残す などの基準は。	秋田公立美術大学附属図書館資料除却実施要領に基づき、除却の決定を行って おり、その種類と対象になる図書は主に次のとおりです。 (1) 汚損・破損除却 劣化や破損がはなはだしく、その修復が不可能な図書又は修復を行う価値がな い図書 (2) 亡失除却 事故・災害等の理由により亡失した図書 (3) 不用除却 年月の経過により利用価値を失い、保存の必要がないと認められた図書など (4) 認定除却 蔵書点検により所在不明が明らかとなった図書であって、翌年度以降継続して 3回の点検の実施によってもその所在を確認できないものなど	総務課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
52	損益計算書	質問	その他雑益とは、例えば何か。	主な内訳は、秋田市新屋ガラス工房との連携事業における人件費の負担金7,483,635円、学内に設置しているコピー機の学生利用料742,590円であります。	総務課
53	C/F計算書	質問	利息の支払額について、内容や計算基準はどうなっているか。	支払利息については、リース資産に係る返済額の一部であり、契約業者から提出された返済表に基づき計上しているものです。利率などの計算基準については各業者の考え方に基づいております。	総務課